

単発性骨嚢腫の治療法と長期的な治療成績に関する多施設共同研究 -骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）多施設共同研究-

1. 研究の対象

2003年4月1日～2015年7月31日までの期間に骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）参加施設で単発性骨嚢腫の手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

単純性骨嚢腫は若年者の上腕骨（じょうわんこつ：うでの骨）や大腿骨（だいたいこつ：ふとももの骨）、踵骨（しょうこつ：かかとの骨）などにできる良性の骨腫瘍に似たできもの（腫瘍類似疾患）です。治療は、病巣が小さければ経過観察、骨折をきたす可能性があれば手術やステロイド注入などが行われますが、手術の方法にも様々な方法があります。しかし、再発率が高く（およそ40～80%ほど）、再発を繰り返すと手足の機能が損なわれることがあるとされており、日本全体でのまとまった報告はなされていません。

骨軟部肉腫治療研究会（JMOG: Japanese Musculoskeletal Oncology Group）は、全国の主要骨軟部治療施設が参加する研究会であり、骨軟部腫瘍分野において日本における最大の多施設共同研究の支援研究会です。本研究では、JMOG参加施設と多施設共同研究を実施し、単純性骨嚢腫の治療成績を調査することで、再発の頻度やそれらに対する治療、そして最終的な疾患の治癒率や手足の機能をまとめることで、今後の診療に役立てることを目的としています。

研究実施期間：研究許可日～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：初診日、初診時画像所見（レントゲン、MRI）、手術日、術式、合併症、合併症に対する治療、再発の有無、再発に対する治療、患肢機能 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）参加施設のうち、本研究に参加することを締結した施設となります。

（JMOG ホームページ URL: <http://jmog.jp/map/index.html> を参照）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511（代表）

担当者の所属および氏名：国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科 岩田慎太郎

研究責任者：

国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科

医長 岩田慎太郎

研究代表者：

金沢大学附属病院整形外科 整形外科 教授 土屋 弘行